

GAZETTA DEL ANGELS

フットサル通信
Vol.15



AFC ANGELS

2008.9.22
フットサルカフェ エリア

ドーマンIC

全く自分達のプレイがでないまま試合は続き、時折こぼれるボールに対し全力でしがみつく。2試合目、そんな状態の中、ほのかに光が見えた。〈MK〉選手がボールをゴールに押し込んだ！ドーマンペースは向

ようやくゴール 光が見えたかのように・・・

キックオフ直後、悲劇の予感があった。ボールキープがほとんどできない。早いプレスにパスをつなげない、それどころかパスさえさせてもらえない。また相手の早い攻撃にマークにもつけない。自分達のプレイがでないまま前半を0-3で折り返した。そして、後半も同じような状態が続き0-3で終了。悲劇が始まった。

「悲劇」と語り継がれる試合がある。選手として一度も悲劇的な試合に巡り会わず引退した選手はいたらどうか。ついにエンジェルスは「悲劇」と巡り会うに至った。

キックオフ そして悲劇の予感



この時はまだ、訪れる悲劇に気付いてはなかった



どうにか2失報おうと、〈TY〉選手の早いリスタートのCKから〈KS〉選手がダイレクトシュートをゴールに叩き込むが、時すでに遅し。3-8で惨敗を喫した。散々だった。しかしこの『北名古屋の悪夢』を経験したことによるチーム全体の成長を今後期待したい。悪夢から覚めるために。

後半、〈KY〉選手のシュートは、ゴールマスのわずかに右に惜しくも外れ、〈KY〉選手のドリブルはフィニッシュへとつながらない。エンジェルスへの攻撃が潰されるとそこから始まるのはドーマンの猛攻だ。もう手がつけられない、足が動かない、頭がついていかない。エンジェルスがボールをコントロールしているシーンは皆無だった。5失点この日番活躍しているキーパー〈RI〉選手のファインセーブを含めて、なお5点を失った。

3試合目、格上相手は終止苦しい状態が続く。頼みの綱、エース筒井選手も今日ばかりはパスを受けるところまでボールが運ばれてこない。しかし前半にゴールシーンが見られた！〈TS〉選手と〈KS〉選手のゴールで前半を2-3で折り返す。

後半、〈KY〉選手のシュートは、ゴールマスのわずかに右に惜しくも外れ、〈KY〉選手のドリブルはフィニッシュへとつながらない。エンジェルスへの攻撃が潰されるとそこから始まるのはドーマンの猛攻だ。もう手がつけられない、足が動かない、頭がついていかない。エンジェルスがボールをコントロールしているシーンは皆無だった。5失点この日番活躍しているキーパー〈RI〉選手のファインセーブを含めて、なお5点を失った。

キーパーのファインセーブ しかし重なる失点

に変わらなかつたが後半も〈HK〉選手の追加点があり、2-3と数字的に接戦を演じた。キーパー〈RI〉選手の好セーブが大きかったが、フィールドプレイヤー達も格上との戦い方が出来ていたように思えた。

RECORDS			
■チーム成績			
SEASON	8勝12敗1分 75得点80失点		
TOTAL	22勝24敗3分 164得点163失点		
■個人成績			
No.	NAME	SEASON GOAL	TOTAL GOAL
3	〈DK〉	0	5
6	〈RI〉	5	5
7	〈TS〉	3	7
8	〈KI〉	3	7
9	〈TY〉	7	15
10	〈KY〉	5	6
11	〈TT〉	13	42
15	〈MK〉	6	18
23	〈HK〉	10	16
69	〈KS〉	22	41
-	〈NI〉	0	0

RESULTS			
	AFC ANGELS	D	
GAME 1	-	0	3
	-	0	3
GAME 2	〈MK〉×1	1	2
	〈HK〉×1	1	1
GAME 3	〈KS〉×1 〈TS〉×1	2	3
	〈KS〉×1	1	5



ドーマンICのみなさん、楽しくゲームができました。次回を楽しみにしています。有難うございました。 AFCエンジェルス一同